

教職員自己紹介

加藤 康雄 (かとう やすお)
情報科学部事務室長

1981 年九州産業大学商学部商学科卒業。同年九州産業大学事務職員として入社。
趣味：釣り (新宮町相ノ島周辺：成果 家族分の魚が釣れなく船代、餌代で赤字)
〔紹介・抱負〕

中学校、高校、大学と黒いグラウンドの上で白球を追い続ける。私の時代の練習方法は水を一滴も飲まず夏の炎天下に練習をする。水泳は肩を冷やすのでやってはいけない。しかし、現在は練習中に十分な水分が補給できるような環境が整っている。水泳は全身運動なのでトレーニングに取り入れることが望ましい。このように考え方、トレーニング方法等が科学的に検証され、的確な練習方法を如何に早く見つけ出し、レベルアップすることが重要視される時代です。

情報環境も前述同様に急速に変化する情報環境を如何に早く的確に処置できるかが重要視されており、本学部がスローガンとする「社会と人間が必要とする情報環境を創造する情報技術者を育成」し敏速に的確に処置できる人材を送り出すことが求められた学部の事務室長として配属になったことを光栄に思います。また、学生のみなさんが目的に向かって進める環境づくりに貢献したいと思います。

〔学生のみなさんへ〕

情報科学部は教育面においても他大学にない講義記録システムを導入し、「学生は復習し教員は研修する」、常に新しい環境を整え、何事にもチャレンジする学部です。学生のみなさんは第一期生であり、全ての環境が真白であるからこそできること、つまり、みなさんで情報科学部の色を見つけ染め上げ、情報科学部を創り上げてほしいと思います。



佐藤 真理 (さとう まり)
情報科学部事務室職員

昭和 62 年 4 月に本大学事務職員として入社以来、総務部、経営学部事務室、短大、図書館を経て、本年 4 月、情報科学部開設と同時に本学部事務室に勤務することになりました。学部事務室は、研究・教育の両面で研鑽を積まれる先生方をサポートする最前線の業務です。そのため、つねに先生方との十分なコミュニケーションを図り、良好な研究教育環境の実現を心がけなければなりません。同時に、先生方がホッとするような事務室でありたいと考えております。

情報科学部は、今日社会的要請が極めて大きな学部であると聞いております。正直なところ、そのような期待を集める学部の事務室という業務には、少々自信が揺らぐこともあります。しかしながら、これまでの勤務経験を生かして、先生方を積極的にサポートし、情報科学部発展のために微力ながらお手伝いできれば幸いです。お気軽に事務室へおこしください。今後ともよろしく願いいたします。

